

市会議案第15号

健康保険証廃止の「凍結」を求める意見書

上記の議案を提出する。

令和5年8月7日提出

吹田市議会議員

玉井美樹子

同

山根 建人

同

益田 洋平

同

村口久美子

同

竹村 博之

同

塩見みゆき

同

柿原 真生

健康保険証廃止の「凍結」を求める意見書（案）

2024年（令和6年）秋に健康保険証を原則廃止とする内容が盛り込まれた「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律」が2023年（令和5年）6月2日に成立した。

健康保険証の廃止後は、保険証の機能をマイナンバーカードに搭載した「マイナ保険証」又はマイナンバーカードでオンライン資格確認を受けることができない人は「資格確認書」により資格確認を受けることとなる。

しかし、全国保険医団体連合会が行ったアンケート調査で、全国の医療機関でマイナ保険証のトラブルが大量に発生している実態が明らかとなった。そのトラブルの多くは、被保険者情報が正しく反映されず、資格があるにもかかわらず「無効」、「該当資格なし」と表示されたというものと、顔認証付カードリーダー等の不具合によりマイナ保険証の読み取りができなかったというもので、多くの医療機関はその日に患者が持ち合わせていた健康保険証により資格確認をすることでトラブルに対応したと回答している。

また、資格確認書は、マイナ保険証と同様に本人の求めによる提供が原則となっており、高齢、障がい等を理由に申請自体ができない人は、保険者が必要と認めなければ資格確認書が提供されず、診察時の保険適用がなされなくなる。

このような事態への対応がなされないまま健康保険証を廃止することは、本来受けられるはずの保険診療を受けることができず、ひいては医療を必要とする人の生命の危機につながるおそれもあることから、政治道徳上、許されるものではない。

よって、本市議会は政府及び国会に対し、少なくとも現段階での健康保険証の廃止は行わず、「凍結」することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年8月 日

吹 田 市 議 会